

## 藍サポ通信 ～明日に向かって～

Vol.22 発行日 2016年 10月 25日

社会福祉法人藍

大阪市平野区平野南 3 - 11 - 35

TEL (06) 6799 - 1065

有限会社 ひらの

大阪市平野区平野西 4 - 7 - 28

TEL (06) 6703 - 1711

発行責任者 保田 八十次

編集 藍サポートネットワーク広報委員会

<http://ai-snet.com>

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

「障がい」の記載について、藍サポ通信～明日に向かって～では「障がい」の記載方法を明確にするため、法律や公的に記載されているものを除いて「障がい」とひらがなで記載しています。法律名称や公的に漢字で記載されているものについては「ひらがなに変換せずに」そのまま記載しています。

### 活動報告 生活介護第二ひらの 平野西事業所

第二ひらのでは9月に淡路島に一泊旅行へ行きました。

一日目の、ONOKOROパークでは芝滑りやゴーカートのアトラクションでダイナミックに楽しんだり、期間限定のお化け屋敷にも行ったりしました。みなさん一喜一憂でアトラクションを満喫されていました。旅館が海の近くということもあり、夕食は鯛のお頭付きお刺身など海の幸を堪能されています。

2日目はうずしおクルーズに行きました。以前から心配していた天気もみなさんの天気運もあってか見事に快晴！！

そして肝心のうずしおは・・・

これも見事に大なり小なりたくさんのうずしおが見えました！！！！！！

そして帰りのバスではプロ野球選手が登場するなど一泊二日の淡路島旅行を思いっきり楽しむことができました。



記事担当 久間

## 活動報告 生活介護ひらの

### 感謝

「充実した日々の中で」

生活介護ひらのでは、今年度に入り様々な分野で活動されている方々にお願いしてヨガ、体操、音楽活動、語りといった新たな活動を取り組んでいます。

音楽活動では、楽しさと日頃なかなか経験できない楽器の調べに触れ、穏やかな気持ちで過ごせる様にする事を目的としています。ボランティアで来ていただいている「クラールス」さんにはクラリネットの演奏、「モンキーポット」さんにはウクレレや電子ピアノを演奏してもらっています。どちらも事前に演奏して欲しい曲をリクエストをして、みんなで楽しく歌っています。曲に合わせて踊って下さったり、フラダンスも好評でした。衣装をさせてもらったりみんながコンサートに参加出来る様に工夫していただいています。



語りでは、人の声の暖かさと情緒の安定をはかり、聞く力を付け、穏や



かに過ごす事を目的として、第一月曜日に「なにわ語り部の会」の方に来ていただき、本の読み聞かせやパネルシアター等をしてもらっています。初はざわざわしている室内も読み聞かせが始まるとみんなの目がじーっと本を読んで下さる方の顔や紙芝居に釘付け。パネルシアターでは登場する手づくりのキャラクターの絵に合わせて歌を歌ったり、パネルシアターの展開に驚いたり楽しい時間を過ごす事が出来ています。

ヨガや体操では、楽しみながら運動不足を軽減できるようにする事とマッサージや日頃できにくい取り組みを利用者の方へ提供できる事を目的に取り組んでいます。第二、第四金曜日には、松本純子さんの「すみすみヨガタイム」、第二、第四火曜日には、大田里美さんの「さとちゃんのリフレッシュ体操」を行なっています。利用者さんにとっても優しく、元気に接していただいております。利用者さんもととても楽しみにされています。身体を動かす機会をできるだけ無理のない形で行なう事が、日頃の運動不足の解消につながるので大切な活動になっています。



また、これらの活動とは別に、夏祭りイベントでは放課後等デイサービス利用者さんの保護者の方にお手伝いをしていただき、生活介護の様子を見ていただきました。保護者の方からは、「生活介護の利用の様子を見て自分達の子どもの将来の選択肢の一つを知る良い機会になった」と高評をいただきました。



このようにボランティアの方や保護者の方などに事業所の中に入っていただくことは、外部の目で「見られる」という環境を作る事も目的としています。利用者さんへの対応、我々職員の仕事に対する意識の在り方など、事業所内だけでは気付かない点を第三者の目で気付かされることがあります。

ボランティアのみなさんには、いつも快く取り組みに協力して下さっており、大変感謝しております。

今後も生活介護の取り組みの意味をしっかりと考えていき、利用者の方々のみなさんへのより良いサービスのために努力していきたいと思います。

## 活動報告

### 社会福祉法人藍くれよん・第二くれよん 地域生活支援センターHIRANO くれよん

夏と言えばやっぱりお祭り！ということで、8月には夏祭りを開催しました。子どもたちがそれぞれ思いを込めて作った提灯や看板、そしてイラストコンテストに向けて素敵な絵を一生懸命描いて、フロアは夏祭り一色でした。当日は、はっぴを着て準備万端！！「いらっしやい、いらっしやい」と呼び込んで、お店番をする子もお客さんになる子もみんなとてもいい表情をして夏祭りを楽しんでいました。おやつも夏祭りバージョンとなり、いつもと違う形で出てきて、子どもたちも「いつもと違う」と嬉しそうに食べ、夏祭りの雰囲気味わいました。中にはスイカ割りイベントも！！最後にみんなで円になって盆踊り。音に合わせて、スタッフの動きを見ながら、身振り手振り、いい表情をして踊って楽しんでいました。

夏休みが終わって、暑さも少しずつやわらいできました。秋と言えば味覚祭り。9月はたくさんの美味しいものを食べることが出来る季節ですね。くれよんでは秋の味覚を感じようということで、いつものおやつにさつまいもや梨、ぶどうなど秋の味覚を使ってパフェ作りをしました。また、フロアに隠された秋の味覚を探して、カゴに入れ、子どもたちもフロア中探し回る、秋の味覚祭りゲームをして秋の訪れをみんなで楽しみました。

10月の行事といえば？と聞かれると皆さん何を連想しますか？？ちなみに、私はハロウィーンと答えます。ハロウィーンは元々、外国の行事で日本ではお菓子がもらえる程度の認識だったと思います。でも、最近では日本でもハロウィーンにちなんだイベントが開催されたり、様々な仮装、コスプレをして街中を歩いたりなどで、多くの人に知れ渡るようになり、10月の1大イベントになってきました。そんな1大イベントをくれよんでも毎年行事として保育に取り入れており、今年もひと足先にくれよんハロウィーンを開催しました！！

イベント好きの子ども達にとってもハロウィーンはお菓子がもらえることで、更に楽しみな行事になっているようで、ハロウィーンの準備にも積極的に参加してくれました^^様々な顔のお面をぬったり、折り紙でかぼちゃを作って目や顔を書いたり、撮影スペースの背景をみんなで作ったり、プレゼントを作ったりなどなど、楽しみながら気持ちが高まっていきました。天井から垂れるように飾り付けも行っており、それを子ども達がニコニコしながらながめているのを見て、職員にもさらに熱が入り、装飾がグレードアップしていき、去年よりも雰囲気が増したフロアになりました(笑)

くれよんの三事業所が合同で開催した夏祭りでは、普段関わることの少ないお友達同士の交流ができたので、今回のハロウィーンも合同で開催しました。準備万端でいざハロウィーン！！子どもと職員も仮装をして、電気を消していかにもという雰囲気を演出して、遊びに来たお友達をお出迎え。みんなで集まって話しをし、おやつを食べた後はメインの遊び！！お菓子探しや、ハロウィーンクイズ、かぼちゃほりなどフロアごとで考えたハロウィーンにちなんだ遊びをみんなで楽しみました。

「やったー！！」、「かわいい」、「美味しい！！」など、いろんな声が飛び交っていて雰囲気もみんなの様子もとても良く、思い出に残る素敵なハロウィーンとなりました。

くれよんでは、子ども達により楽しんでもらうために、行事や遊びを考えて話し合い、計画して実施しています。今後も引き続き、子ども達の笑顔のために、色々なことを考えていきたいと思っております。

記事担当 谷口・大田原



## ヘルパー日誌

今回のガイドヘルプでは利用者さん（Nさん）の希望で「うなぎ」を食べに行きました。インターネットは便利なもので、限られた時間で移動できる範囲内で、限られた予算で食べることでできる美味しいうなぎ屋さんの候補を、Nさん自身がスマートフォンを使ってすぐに見つけ出されました。Nさんが検索された候補の中から料理の写真や値段を見てお店を選び、一緒に選んで食べた後、すごく満足されたようで皆にも紹介したいとおっしゃられていました。

### Nさんのお店レビュー♪ ☆5 段階評価中

お店の名前 「宇奈とと」（地下鉄南森町駅徒歩2分 天神橋筋商店街）

- ・味 ☆5 たれが美味しく、うなぎも柔らかかった。後でかけられるたれが美味しかった。
- ・値段 ☆5 安いし量もしっかりある。
- ・量 ☆4 ご飯の量も満足できた。
- ・お店の雰囲気 ☆3 席がそんなに多くない。
- ・おすすめ度 ☆5 皆にも一回行って欲しい♪

今回は写真を撮れていませんが、機会があればまたこのような記事を利用者さんと一緒に作ってみたいと思います！

記事担当 Nさん・木佐貴

## 地域の音楽イベントに参加して

10月15日（土）に地域の小学校で開催された音楽イベントに、くれよんと生活介護第二ひらのが参加しました。去年も同じ場所で音楽活動に参加させてもらったので、子ども達のなかには2回目の参加になる子もいました。アフリカから日本に来て日本で生活されているジョセフさんという方が、日本人の奥さんと共にボランティア活動を通して、アフリカの民族楽器や音楽を日本に伝えているそうで、アフリカの民族衣装に身を包んだジョセフさんが登場した時は、みんなびっくりしていました(笑)見た目に反して流暢な日本語を話すジョセフさんはとても優しく子ども達に語りかけていて、みんな一瞬でジョセフさんにくぎ付け!



いざ、太鼓を使って演奏を開始!! 聞けば演奏に使っている太鼓は日本にある物でも作れるらしく、使用している太鼓もジョセフさんお手製とのこと!

ジョセフさんが前で演奏している音楽に合わせて小さい太鼓を子ども達が叩いて一緒に演奏できたり、ジョセフさんが演奏している大きい太鼓をみんなの前で叩けたりで、子どもも大人も大興奮!! 最後は前に出て小さい太鼓を、みんなで演奏。音楽に合わせてリズムをとってノリノリでダンスする子もいて、みんなで自由に音楽を楽しみ、会場の熱気は最高潮に!! 終わってから会場には素敵な余韻が残っていました。



地域の小学校ということもあり、地域の子たちも参加しており、中には他の事業所で関わっているお友達がいる子もいました。それ以外でも一緒に演奏や踊ることで、その場で仲良くなった子もいました。

一つの音楽を通して楽しみながら、知らない人や色々な人との交流ができる。人と人を結びつける力、言葉がなくても通じ合える力が音楽にはあるとつよく感じました。

地域で生活していくうえで、地域の方との交流はとても大事なことです。そのためにも交流の場に積極的に参加すること、また、交流できる活動を計画し、地域に発信して呼びかけていくことが私たちの役割だと思います。参加できる催しや案がありましたら教えて頂けると嬉しいです。広報委員として今後も季刊誌などを活用して活動や取り組みを周りに発信していきたいと思っています。

記事担当 広報委員会 大田原